

第39回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会 名水サミット in はだの

丹沢が育む「名水の里 秦野」

その『訳』とは ——



事前参加申込、PR動画は
こちらの特設サイトから

2025
11/8 土

名水シンポジウム ～名水というのには訳がある～



時間 12:50～17:00
開場12:30

会場 メタックス体育館はだのメインアリーナ
神奈川県秦野市平沢101-1

入場無料

当日参加可 途中入退場可

名水紹介 13:35～14:00

- ①名水百選「秦野盆地湧水群」
秦野名水名人講
- ②秦野名水の歴史と取組み
秦野市環境共生課

基調講演 14:10～15:45

「名水というのには訳がある」をテーマに、丹沢の地形や地質、地下水を守る取組みなど、様々な分野の専門家たちによる各15分間の講演を行います。

- ①秦野盆地の地形と成り立ち
平塚市博物館 野崎 篤 学芸員
- ②秦野盆地の地下水流動の特徴
神奈川県温泉地学研究所
宮下 雄次 所長
- ③秦野市の土壌・地下水汚染対策と浄化事業
横浜国立大学大学院
小林 剛 教授
- ④秦野名水
ー地下水ガバナンスの視点から
大阪公立大学大学院
遠藤 崇浩 教授
- ⑤ホットケない！源流域の淡水魚
～湧き水が育むホトケドジョウ～
かながわ淡水魚復元研究会
勝呂 尚之 会長

パネルディスカッション 15:55～16:50

テーマ
「名水というのには訳がある」

コーディネーター 小林 剛
(横浜国立大学大学院 教授)

パネリスト 加藤 修平 南足柄市長
湯川 裕司 山北町長
宮下 雄次
(神奈川県温泉地学研究所長)
立石 純子
(はだのブランドアンバサダー)
高橋 昌和 秦野市長



名水の「訳」を
解き明かす!?

展示ブース

環境活動団体や大学、
企業の取組みなどを
間近で体験！
(10:00～17:30)

事前申込特典

事前参加申込で森の妖精もりりんの
キラキラステッカーを
プレゼント！



名水百選



- 主催／全国水環境保全市町村連絡協議会 ●共催／秦野市
- 後援／環境省・神奈川県・丹沢大山自然再生委員会・
公益社団法人日本地下水学会・公益財団法人日本自然保護協会
- お問い合わせ／全国水環境保全市町村連絡協議会事務局（秦野市環境共生課 TEL.0463-82-9618）



第39回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会

1955年（昭和60年）、「秦野盆地湧水群」として名水百選に選定された秦野市は、丹沢山地と渋沢丘陵に囲まれた県内唯一の盆地が豊かな地下水を貯える「名水の里」です。

緑豊かな丹沢の自然と恵まれた地形が生み出す“天然の水がめ”には、約7億5千万トンの水があるとされますが、過去には水不足や水質汚染など多くの課題にも直面してきました。

自然が育み、人々が守り、伝えてきた「秦野名水」。今も多くの人々の生活を支えるこの水が、なぜ「名水」と称えられているのかを知り、将来へ引き継ぐため、今、私たちに何ができるのかを一緒に考えてみませんか？

司会

立石 純子
TATEISHI JUNKO

はだのブランドアンバサダー

横浜市出身、秦野育ちのシンガーソングライター。2019年に「はだのブランドアンバサダー」に就任。SNSを通じた情報発信や関連事業への参加を通じ、はだのブランドのPRに協力している。

また、水無川の清掃活動「クリーンストライド」などイベントも企画開催。はだの丹沢水無川マラソン大会アンバサダーも務め、旅番組リポーター、登山など幅広く活躍中。



オープニング アクト

総勢70名以上による
オカリナ演奏
丹沢・オリーブの会



基調講演

テーマ「名水というのには訳がある」

秦野市が「名水の里」と呼ばれる訳を、様々な分野の専門家による講演を通してご説明します。各講演は15分間、途中入退場可能です。名水を育む地形や守る取組み、そして名水に生息する生き物について知り、私たちが生きるために必要な「水」について考えてみましょう。

1

秦野盆地の地形と成り立ち

野崎 篤
NOZAKI ATSUSHI

平塚市博物館
学芸員

2014年、横浜国立大学環境情報学府博士課程修了。学術博士。専門は層序・古生物学。2015年から現職。湘南の地質について調査研究している。

2

秦野盆地の地下水流動の特徴

宮下 雄次
MIYASHITA YUJI

神奈川県温泉地学研究所
所長

県内の地震火山災害の軽減や地下環境の保全を目的とした神奈川県温泉地学研究所において地下水を専門に研究。

秦野市地下水保全審議会副会長。

3

秦野市の土壌・ 地下水汚染対策と浄化事業

小林 剛
KOBAYASHI TAKESHI

横浜国立大学大学院
環境情報研究院
教授

自然環境と情報部門において土壌汚染対策等を研究。環境省中央環境審議会臨時委員を務める。

2022年度環境科学会学術賞受賞。

秦野市地下水保全審議会会長。

4

秦野名水ー 地下水ガバナンスの視点から

遠藤 崇浩
ENDO TAKAHIRO

大阪公立大学大学院
現代システム科学域
教授

慶応義塾大学大学院にて博士号を取得。専門は環境政策学で伝統的な地下水コモンズ管理や災害時における地下水利用の普及策について研究。日本地下水学会理事。

5

ホットケない！源流域の淡水魚 ～湧き水が育むホトケドジョウ～

勝呂 尚之
SUGURO NAOYUKI

かながわ淡水魚復元研究会
会長

元神奈川県水産技術センター専門研究員。東京水産大学を卒業、近畿大学で農学博士を取得しホトケドジョウなど希少な淡水魚の分布や生態系復元について研究。

同日
開催

第20回秦野市里山まつり

11/8（土）9:00～15:00 メタックス体育館はだの前
主催：はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会・秦野市

人と自然がひとつになれる里山

パラグライダー体験（事前予約制）、
木工体験、丸太切り体験、竹灯籠作り、
玉コロガシ◎プロジェクトなど

